

各位

株式会社リブ・コンサルティング  
代表取締役 関 巖

## 【生成 AI 実態調査】企業における生成 AI の日常利用の割合は 42%。すでに生成 AI を活用している層は 84%が成果を実感。

株式会社リブ・コンサルティング（本社：東京都千代田区、代表取締役：関巖）は、年間売上高 1,000 億円以上の企業の課長職以上を対象とした「生成 AI に関する実態調査」のアンケート結果を発表します。

▼本レポートにご興味ある方は以下よりダウンロードください（無料）

<https://www.libcon.co.jp/download/detail067/>

今回調査した所属する部門・会社において生成 AI を日常利用（週に数回程度以上）している割合は 42%となり、すでに生成 AI を活用している層に関しては、84%が自分自身の業務にプラスの影響を与えると捉えていることが分かりました。

近年、ChatGPT 等の普及により、生成 AI に対する認知・推進度合いが大幅に向上し、業務効率化を目的として企業での生成 AI 活用が進んでいます。

本調査は企業での生成 AI の取り組み実態および生成 AI 活用の実現に向けた課題を把握することを目的に実施いたしました。

### 【調査サマリ】

- ①所属する部門・会社において生成 AI を（週に数回程度）している割合は 4 割以上
- ②部門によって生成 AI の使用頻度に差があり、日常利用が 5 割以上の部門は経営層、企画部門、人事部門、システム部門
- ③業界によって生成 AI の使用頻度に差があり、日常利用が 5 割以上の部門は IT・通信・メディア、商社
- ④所属する部門・会社において生成 AI の成果を 2 割以上が実感している
- ⑤所属する部門・会社において生成 AI の導入ハードルで最も多いのは「使用方法のノウハウの不足」
- ⑥所属する部門・会社の業務と今後の生成 AI の関係について 6 割以上が自分の業務にプラスの影響を与えると捉えており、すでに生成 AI を利用している層は 8 割以上がプラスの影響を与えると捉えている
- ⑦所属する部門・会社において生成 AI の導入に係る教育を約 3 割が行っている

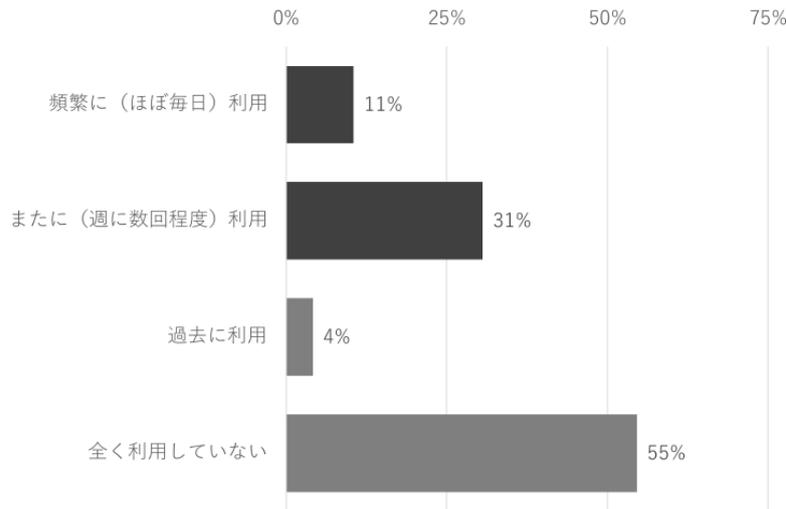
### 【調査結果詳細】

#### ・生成 AI の利用状況

「ChatGPT」など生成 AI を業務で「頻繁に（ほぼ毎日）利用（11%）」、「たまに（週数回程度）利用（31%）」と日常利用している層は 42%となり、全く利用していない層は 55%となりました。

Q.所属する部門・会社における生成AIの利用状況について、教えてください。

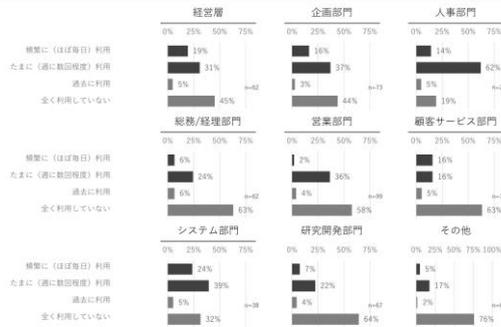
n=504



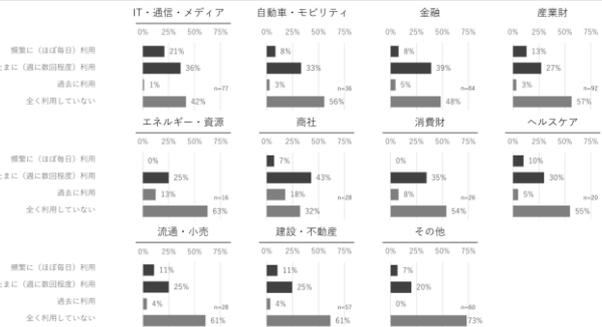
・部門/業界ごとの利用状況

部門によって生成AIの使用頻度に差があり、週数回以上の利用が多い部門順に人事部門（76%）、システム部門（63%）、企画部門（53%）、経営層（50%）となっています。また、業界によっても生成AIの使用頻度に差があり、IT・通信・メディア（57%）、商社（50%）となっておりその他の業界はまだ活用が進んでいません。

利用状況 部門別



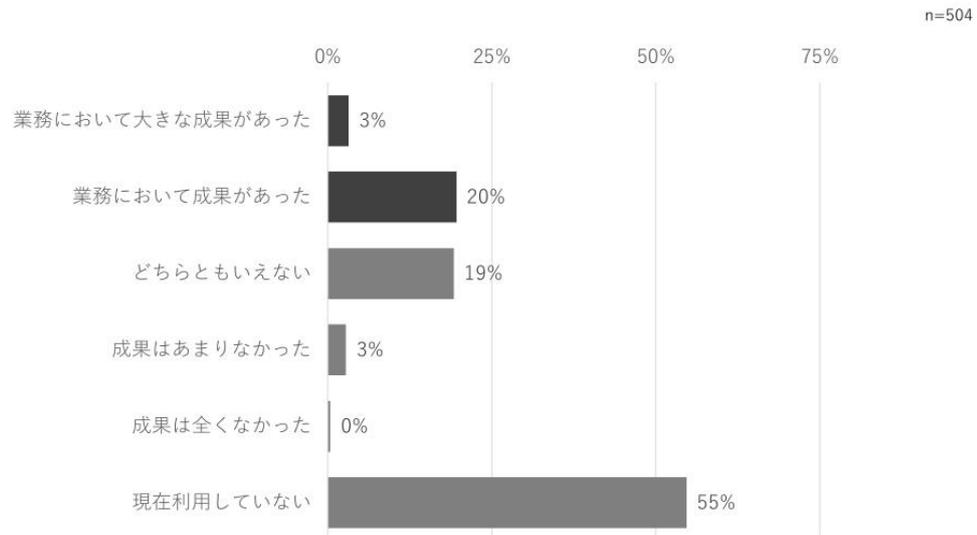
利用状況 業界別



・生成AI活用による成果

所属する部門・会社において「業務において大きな成果があった（3%）」、「業務において成果があった（20%）」となり、生成AIの成果を23%が実感しています。特に資料等の要約や調査およびデータの収集に活用されています。

Q.所属する部門・会社における生成AIの利用の現時点での『成果』について、教えてください。

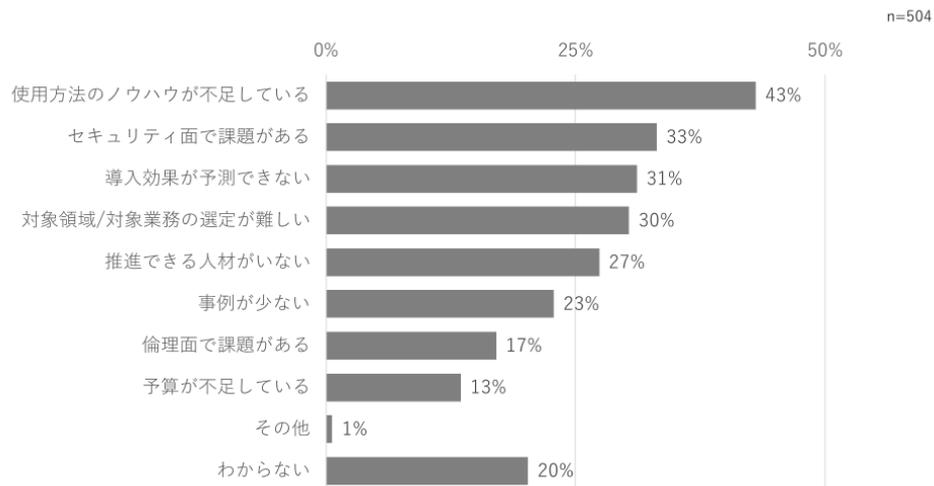


・生成 AI 導入ハードルと教育への取り組み状況

生成 AI の導入ハードルの一要因として、「使用方法のノウハウが不足している（43%）」ことが読み取れます。生成 AI の普及が進み、専門家だけでなく幅広い層が生成 AI に触れることができるようになった一方で、ユーザー側にはこれまで以上に AI リテラシーが求められます。

導入ハードル

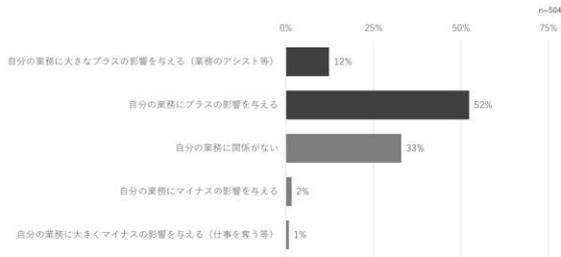
Q.所属する部門・会社における生成AIの『導入段階』のハードルについて、教えてください。



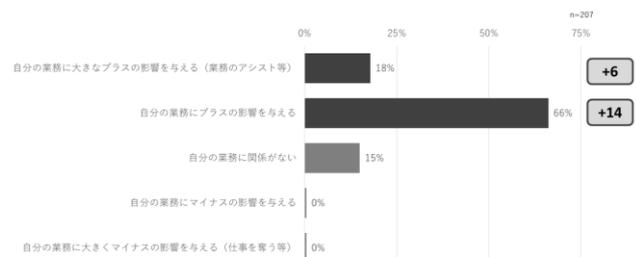
・所属する部門・会社の業務と今後の生成 AI の関係

所属する部門・会社の業務と今後の生成 AI の関係について「自分の業務に大きなプラスの影響を与える（12%）」、「自分の業務にプラスの影響を与える（52%）」となりプラスの影響があると捉えている層は全体の 64%となりました。また現在利用している層のみに絞ると「自分の業務に大きなプラスの影響を与える（18%）」と全体より 6%多く、「自分の業務にプラスの影響を与える（66%）」と全体より 14%多い結果となりプラスの影響があると捉えている層は全体の 84%となりました。

Q.所属する部門・会社の業務と今後の生成AIの関係について、教えてください。



Q.所属する部門・会社の業務と今後の生成AIの関係について、教えてください。



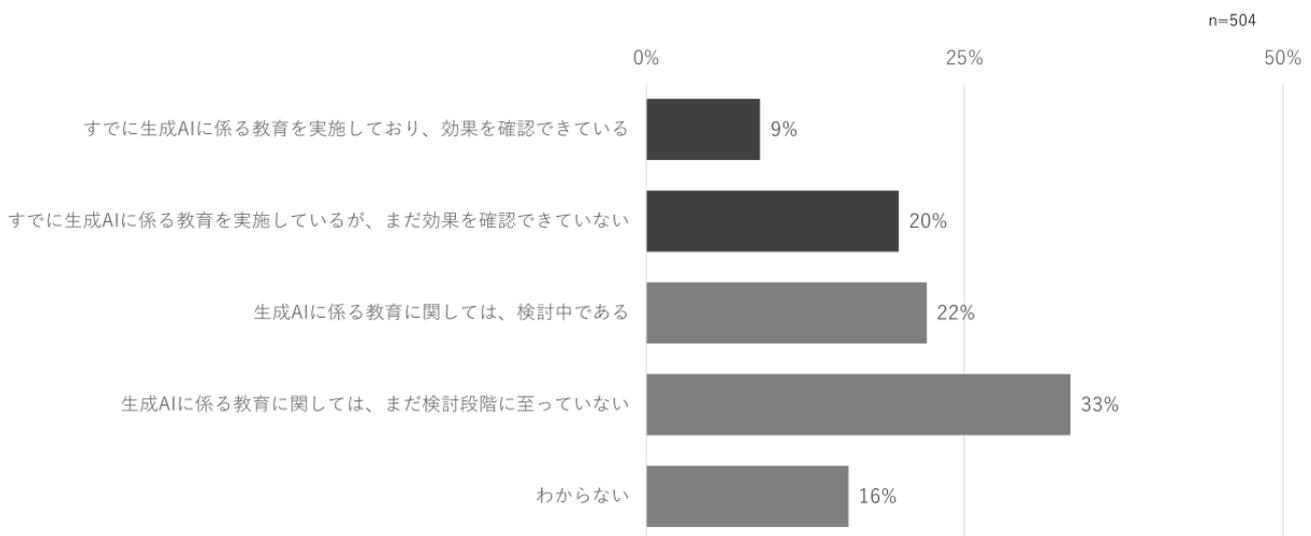
## ・生成 AI の導入にかかる教育

生成 AI 導入に係る教育を行っている割合は「すでに生成 AI に係る教育を実施しており、効果を確認できている（9%）」「すでに生成 AI に係る教育を実施しているが、まだ効果を確認できていない（20%）」で 29% となります。利用層においてはすでに 5 割超が教育を実施しており、利用から成果に移行するのにおいて教育が必要です。

## 生成AI導入に係る教育



Q.所属する部門・会社における生成AIの導入に係る教育の現状について、教えてください。



### 【本調査結果の詳細レポート（無料）】

URL：<https://www.libcon.co.jp/download/detail067/>

上記 URL よりダウンロードいただき、貴社の生成 AI 活用にお役立てくださいませ。

### ■調査概要

調査方法：インターネット調査

調査時期：2024年2月19日（月）～2024年2月22日（木）

調査対象：年間売上高1,000億円以上の企業の課長職以上

調査対象者数：504名

## 【株式会社リブ・コンサルティング 会社概要】

代表取締役：関 巖

設立：2012年7月

所在地：【東京本社】東京都千代田区大手町1丁目5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー 19階

【支社】タイ支社（バンコク）

事業内容：総合経営コンサルティング業務、DXコンサルティング業務

URL：<https://www.libcon.co.jp/>